

自転車 (じてんしゃ)



写真出典：平成 28 年度版『わたしたちのまち堺』P68 堺市教育委員会

現在、堺の国産自転車と部品の出荷額(しゅっかがく)は、日本で高い割合をしめます。自転車は明治時代以降に輸入(ゆにゆう)されました。その頃、堺では鉄砲鍛冶(てっぽうかじ)の技術を生かして、自転車の修理と部品の生産をしました。その後、第一次世界大戦により自転車の輸入がとまったのをきっかけに、堺は国内生産地として発展しました。

Q. 鉄砲鍛冶のどんな技術を生かすことができたの？

A. 戦国時代から、金属加工についてたくさんの経験と高い技術を受け継(つ)いできた堺の鉄砲鍛冶は、自転車のフレームづくりや部品を取り付けるネジづくりなどに力を発揮(はっき)したんだよ。

鉄砲鍛冶の技術を生かして、故障(こしょう)の多い明治時代の輸入自転車の修理(しゅうり)や部品づくりをしていたことが、堺の自転車産業のはじまりで、今も自転車の完成車と部品の製造で、日本でも高いシェアを誇(ほこ)っているんだ。かつて戦国の世を圧倒(あつとう)した堺の技術は、数百年の時を経て、平和な時代を象徴(しょうちょう)する技術へと受け継がれているんだよ。

出典：堺市ホームページ[2012/8/15 現在]

http://www.city.sakai.lg.jp/renaissance/past/04_2.html

平成 28 年度版堺市中学校社会科『わたしたちの堺』P12-13 堺市教育委員会